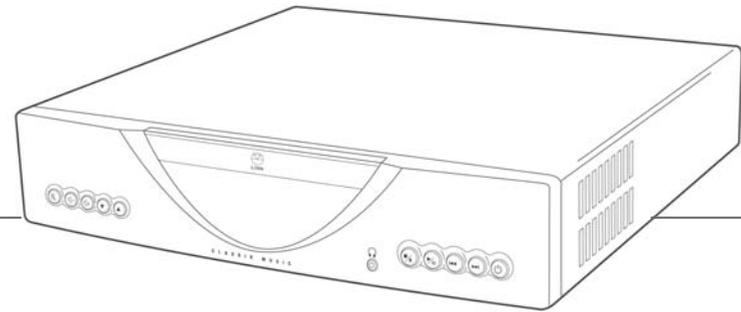




CLASSIK MUSIC

INTEGRATED MUSIC SYSTEM



CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2008 Linn Products Ltd. 初版2008年5月

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham,
Glasgow, G76 0EQ, Scotland, United Kingdom

Linn Products Limitedはすべての権利を保有します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形での保存、転送をすることは出来ません。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告無く変更されることがあります。また、Linn Products Limitedが内容を保証するものではありません。Linn Products Limitedは本マニュアルに誤りや、不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

Linn(リン)及びLinnのロゴは、Linn Products Limitedの登録商標です。**CLASSIK MUSIC**はLinn Products Limitedの商標です。

“DTS”はDigital Theater Systems, Inc.の商標登録です。

Linn Products Limitedでは、弊社以外の商標、商品名に対する所有権を主張することはありません。

英国登録意匠番号:3021659

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

目次

はじめに	1	セクションの繰り返し再生	15
ディスクタイプ	1	シャッフル再生	15
		プログラム再生	15
		除外再生	16
接続	2	チューナー	17
開梱	2	RDSについて	17
電圧の選択、ヒューズ、電源コード	2	セットアップ	17
設置	2	はじめに	17
クリーニング	2	チューニング機能	17
背面パネル	3	AM/FM帯域の選択	18
Classik Musicを接続する	4	受信機能	18
		信号サーチ	18
		信号スキャン	18
		RDSチューニング機能	19
前面パネルとリモコン	7	プリセット機能	19
前面パネル	7	自動プリセット機能	19
リモコン	8	手動プリセット機能	20
リモコンモード	10	プリセット選択	20
		プリセット削除	21
ソースの選択	11	プリアンプ	22
		音量とミュート	22
		バランス調整	23
		音質調整	23
CDを再生する	12	ソースのレコーディング	25
前面パネルディスプレイ	12	録音ロック	25
基本操作	12		
はじめに	12		
CDの操作	13		
次/前のトラック選択	13		
ダイレクトトラック選択	13		
早送り/ 早戻し (サーチ)	13		
早送り/ 早戻し (スキャン)	14		
トラックの繰り返し再生	14		
プログラムモードで再生する	14		
ディスクの繰り返し再生	14		
トラックの繰り返し再生	15		

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

ユーザーオプション	26
ユーザーオプション設定を変更する	26
ユーザーオプション一覧表	26
仕様	28
保証とサービス	29

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

はじめに

弊社のCLASSIKシリーズ製品は、従来の単品コンポーネントによるシステムが持っている性能を、小型で落ち着いた一体型のパッケージでお届けできるよう設計されています。

ディスクタイプ

Classik Musicは以下のロゴが印刷されたディスクを再生することが出来ます。



重要事項：ディスクの規格

承認された規格のディスクすべてについて、国際的な互換性を確保するためにあらゆる努力を行っていますが、現在及び将来市場に出るディスクすべてに対する本機の完璧な作動を保証することは不可能です。弊社では、現在入手可能なディスク多種をテストしてきましたが、現在出回っている多くのディスクが自社の公表する使用や認証済みの正式仕様に合致していません。このため、**特定のディスクが再生できないことに対し、責任を負うことは出来ません。**本機で再生できないディスクがあり、他社のプレイヤーで再生できたとしても、それは本機に欠陥があることを示すものではありません。再生に問題があるディスクの詳細については、多くのウェブサイトに掲載されておりますので、本機の性能に対して判断を下す前にこうした公表データを検討頂けるようお願い申し上げます。本機の性能向上に役立つこともありますが、そうしたディスクの再生方法を学ぶ可能性について弊社が何らかの保証をしたという根拠に基づいて、エンドユーザーからディスクを受領することは出来ません。

特殊形状ディスク

ハート型、名刺サイズなどの特殊形状ディスクは再生しないで下さい。製品破損の原因になります。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

接続

開梱

本機には以下の付属品が同梱されています：

- リモコン
- リモコン用単4乾電池 (2本)
- スピーカープラグー式 (安全基準に準拠のもの)
- AMアンテナ
- FMアンテナ
- 電源コード

将来の輸送に備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

電圧の選択、ヒューズ、電源コード

本機はあらゆる電源からのAC電力で動作しますので、電圧を手動で選択する必要はありません。本機にはユーザーが交換できるヒューズは内蔵されていません。各国の規則にしたがって、電源コードにヒューズ入りのプラグが付属している場合もあります。その場合、ヒューズ交換の際には必ず同タイプ・同定格のものを使用してください。本機を主電源に繋ぐときは、必ずアースしてください。付属のアースつき成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

設置

本機はたいていどんな場所にも手軽においていただけます。ただし、以下の点にご注意ください。

- 本機は平らで、安定した硬い面に設置してください。
- 本機の両側にある通気孔をふさがらないでください。
- 換気のために、本機の両側、後部、上部には少なくとも10cmの空間を取ってください。
- リモコンからの信号を受ける赤外線センサーは高感度です。誤動作を避けるために、本機は直射日光が当たらないところに置いてください。リモコンの赤外線ビームは磨りガラスも通りますので、例えばキャビネットの曇りガラス越しの操作も可能です。

重要事項：

ガラス戸等本機正面に障害物がある状態で本機を置いた状態でディスプレイをあげないようにご注意ください。トレイのメカニズムを損なう場合があります。

プラズマスクリーン、LCDスクリーンについての注意

プラズマスクリーンと大型LCDスクリーンは赤外線周波を発するため、放出された赤外線が本機のディスプレイに当たった場合、本機の赤外線によるリモコン操作に干渉する場合があります。本機を設置する際は、プラズマスクリーンまたはLCDスクリーンと向かい合わせにならないよう、また放出された赤外線が直接当たらないようご注意ください。通常、スクリーンの下または直接隣接する位置では、このような干渉を避けることができます。

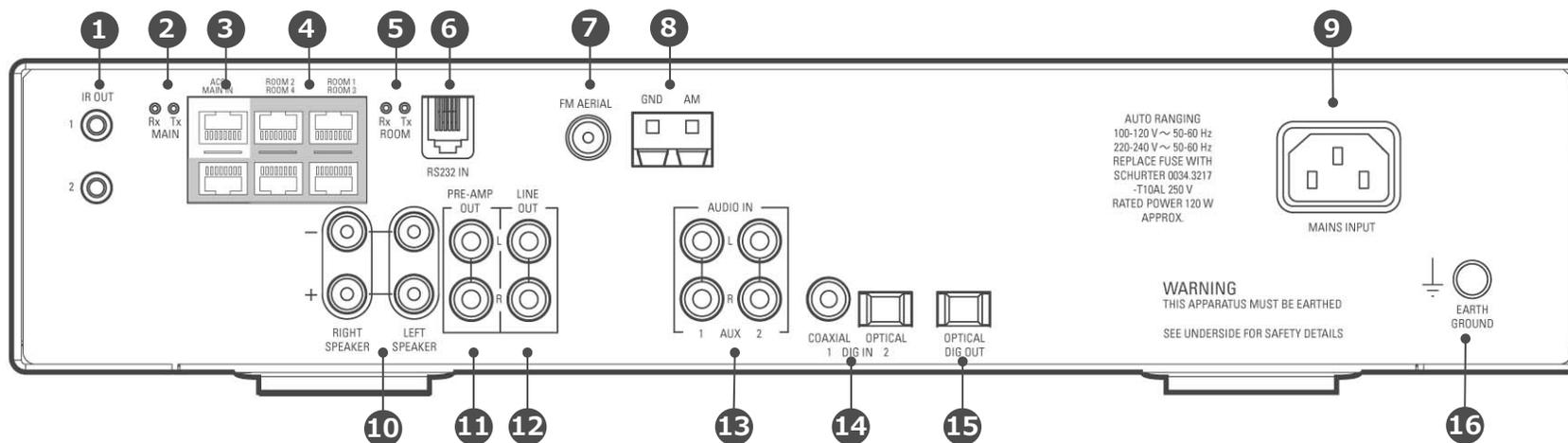
クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

背面パネル



① IR OUT 1 & 2

赤外線フラッシャー端子。赤外線信号を受信する補助装置のリモコンを介した制御を可能にします

② MAIN RX TX

KNEKT LED インジケーター。KNEKT マルチルームシステムの機器間で信号のやり取りを行っているとき点滅します

③ ACC

アクセサリ端子。KNEKT マルチルームシステム内に本機を設置したり、赤外線リピーターを追加する場合に使用します

④ ROOM 1 - 4, MAIN IN

KNEKT端子。KNEKT マルチルームシステム内で他の機器と接続する場合に使用します

⑤ ROOM RX TX

KNEKT RED インジケーター。KNEKT マルチルームシステムの機器間で信号のやり取りを行っているとき点滅します

⑥ RS232 IN

外部機器での操作や、内部ソフトウェアのアップデートに使用します

⑦ FM アンテナ

FMアンテナ端子

⑧ GND, AM

AMアンテナ端子

⑨ MAINS INPUT (電源入力)

⑩ スピーカー出力端子

スピーカーに直接接続するための増幅信号の出力端子

⑪ PRE-AMP OUT (プリアウト)

プリアンプライン出力端子。パワーアンプ、あるいはサブウーファーを接続します

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

- 12 LINE OUT (ライン出力)**
アナログレコーディング装置への接続に使用します
- 13 AUDIO IN AUX 1 & 2 (音声入力 1 & 2)**
補助ソース用アナログ音声入力
- 14 DIG IN 1 & 2 (デジタル入力 1 & 2)**
補助ソース接続用のデジタルオプティカル入力とデジタル同軸入力
- 15 OPTICAL DIG OUT (デジタルオプティカル出力)**
デジタルオプティカル入力機能を備えた機器の接続に使用します
- 16 EARTH GROUND (アース)**
主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します

Classik Musicを接続する

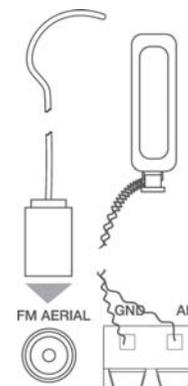
電源に接続する

すべてのAV機器の接続が完了するまで、電源に接続しないで下さい。

付属の電源コードを用いて、本機を電源に接続します。

チューナーアンテナを接続する

付属のAM/FMアンテナを図のように接続します。



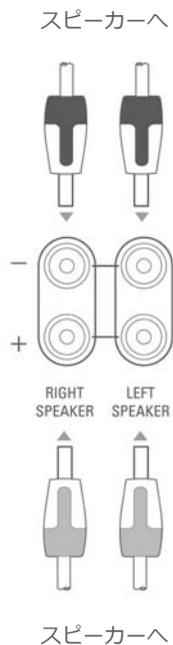
最適な受信状態を確保するには、AMアンテナの位置を調整しなければならない場合があります。FMアンテナの端部は、アンテナの長さが許す限り壁の高い位置に接続してください。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

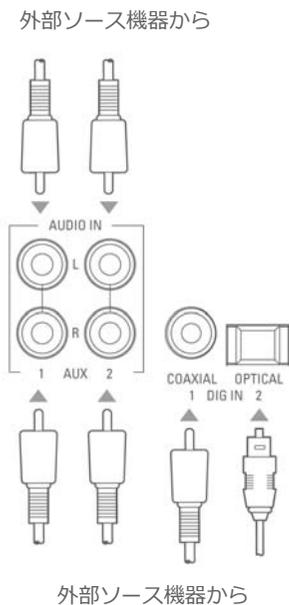
スピーカーと接続する

外部パワーアンプと接続せず、スピーカーを本機に直接接続する場合は、下図に従ってください。



外部ソース機器を接続する

Classik Musicシステムはアナログ入力、デジタル入力をそれぞれ2系統装備しています。



注記:

ソース機器のデジタル出力を接続し、Classik MusicシステムのD/A変換機能を利用することができます。同じソース機器のアナログ出力よりも高音質でお楽しみいただけることがあります。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

録音機器を接続する

デジタルレコーダー等を接続する場合は、LINE OUT出力と結線してください。

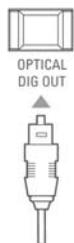
録音機器へ



録音機器へ

外部プリアンプと接続する

CD再生時、外部プリアンプ等のD/Aコンバータを接続して楽しむ場合、光デジタル出力と外部プリアンプを結線してください。

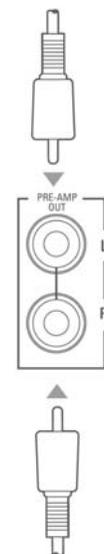


外部プリアンプへ

外部パワーアンプと接続する

外部パワーアンプを使用して音声信号をスピーカーに送る場合、下図に従ってください。

パワーアンプ入力へ



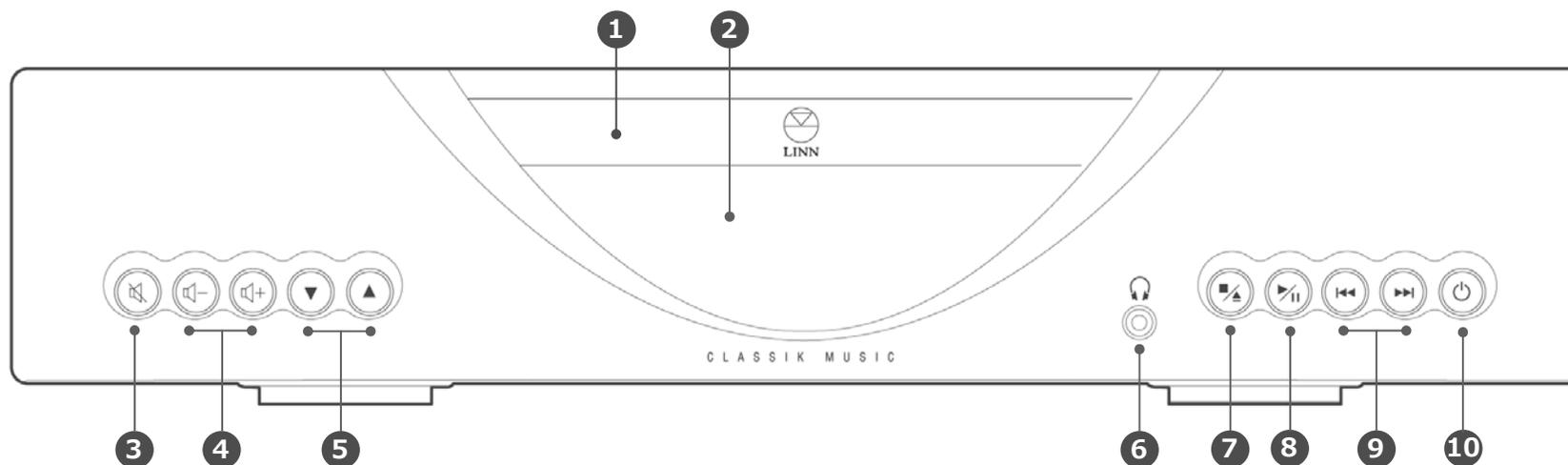
パワーアンプ入力へ

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

前面パネルとリモコン

前面パネル



① ディスクトレイ

② ディスプレイ

③ スピーカー、ヘッドフォンの音をミュート(消音)/ミュート解除します

④ 音量レベルを調整します

⑤ ソースを選択します

⑥ ヘッドフォン端子

⑦ / ディスク再生を停止し、ディスクトレイを開閉します

⑧ / ディスクを再生/一時停止します

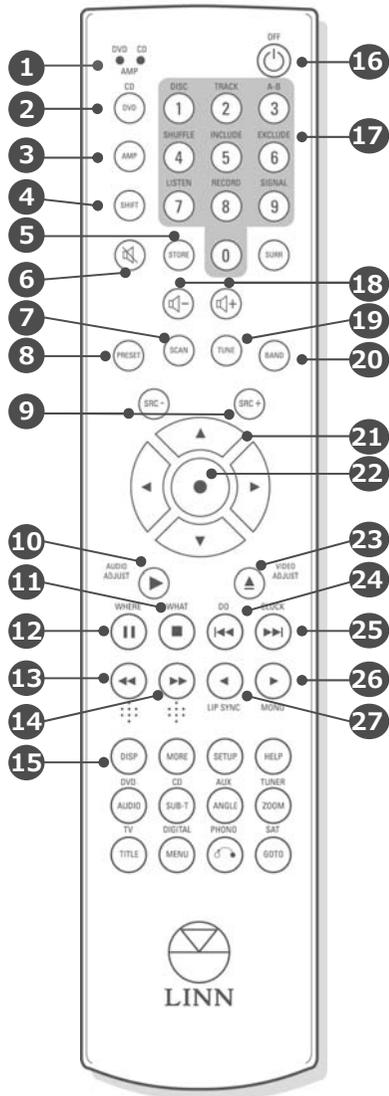
⑨ , 前/次のトラックを選択

⑩ スタンバイモードのオン/オフを切り替えます

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

リモコン



- 1 LEDs キーを押しているときのリモコンの状態を表示します
- 2 DVD, CD リモコンがDisc(ディスク)モードに切り替わります。弊社のCDプレイヤーの操作を可能にします
- 3 AMP リモコンをAmp(アンプ)モードにします(青色で表示された機能)
- 4 SHIFT 赤色で表示された機能を使用できます
- 5 STORE ディスクとチューナーの情報を保存します
- 6  スピーカー、ヘッドフォンの音をミュート(消音)/ミュート解除します
- 7 SCAN チューナー信号をスキャンします
- 8 PRESET チューナープリセットを選択します
- 9 SRC -, SRC + (source -, source +) ソースを選択します
- 10 , AUDIO ADJUST ディスクを再生します。また、調整可能な音声機能を使用できます
- 11 , WHERE ディスクを一時停止します
- 12 , WHAT ディスクを再生します
- 13 ,  * 早戻し検索
- 14 ,  * 早送り検索
- 15 DISP (display) ディスク再生中、前面パネルの時間表示を切り替えます

* 本機をKNEKTシステム内で使用するときに使います。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

- 16  , **OFF** スタンバイモードのオン/オフを切り替えます
使用可能な弊社の全機器に"オフ"(スタンバイ状態になる)コマンドを送ります
- 17 **数字0 ~ 9/シフト機能** 数字キー。赤色で表示された機能を使用できます
- 18  - ,  + 音量レベルを調整します
- 19 **TUNE** チューナーの周波数を選択します
- 20 **BAND** 周波数帯域を選択します
- 21  /  /  /  セットアップメニューの項目を選択し、各種機能を調整します
- 22  ('select') 設定を選択します
- 23  ディスクトレイを開閉します
- 24  , **DO*** 前のトラックの選択
- 25  次のトラックの選択
- 26  スキャン再生
- 27  スキャン逆再生

上記以外のキーおよび機能は本機では使用しませんが、弊社の他製品で使用できます。

* 本機をKNEKTシステム内で使用するときに使います。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

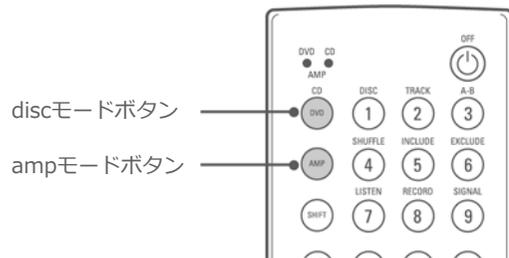
リモコンモード

本機のリモコンには、Disc(ディスク)モード、Amp(アンプ)モードの2種類の操作モードがあります。DVDやCDの再生時、あるいはチューナーの使用時は、リモコンをDiscモードにしておいてください(▶、||などのキー操作を行うため)。*

- リモコンをDiscモードにするには、**DVD** を押します。

青色で表示されたコマンド(例:**AUDIO ADJUST**)を使用するには、リモコンをAmpモードにする必要があります。

- リモコンモードをAmpモードにするには **AMP** を押します。



リモコン使用時に本機が思ったように反応しないケースがあります。その理由として、リモコンが誤った操作モードになっていることが考えられます。このような場合、**DVD** キーを押してDiscモードにするか、**AMP** キーを押してAmpモードにしてください。

本機に弊社のCDプレーヤーまたはチューナーを接続している場合や、本機と同じ部屋でこれらの外部機器を使用している場合、外部機器、本機が共にリモコンのキー操作に反応することがあります。

* チューナー操作キー (**PRESET**、**SCAN** など)、**source -/+** キー、**音量/消音** キーは、リモコンの操作モードに関係なく、いつでも操作ができます。

リモコンのキー操作に反応しないようにLINNのDVDプレーヤーを操作するには:

- 本機ของผู้ザーオプション設定モードに入り、[DVD Commands Accepted]を **No** に設定してください(26ページの「ユーザーオプション」の項を参照してください)。

これで本機に影響を与えることなく、Classik Musicのリモコンで別体のDVDプレーヤー機能を備えた機器を操作できるようになります。

Classik Music本体でCDを再生するにはリモコンで **SHIFT** を押した後、**DVD** を押します。ディスクプレーヤーボタン(▶、||など)は別体のDVDプレーヤーに影響を与えません。

リモコンのキー操作に反応しないようにLINNの別体チューナーを操作するには:

- 本機ของผู้ザーオプション設定モードに入り、Enable Auto Selectionを **Off** に設定します(26ページの「ユーザーオプション」の項をご参照ください)。

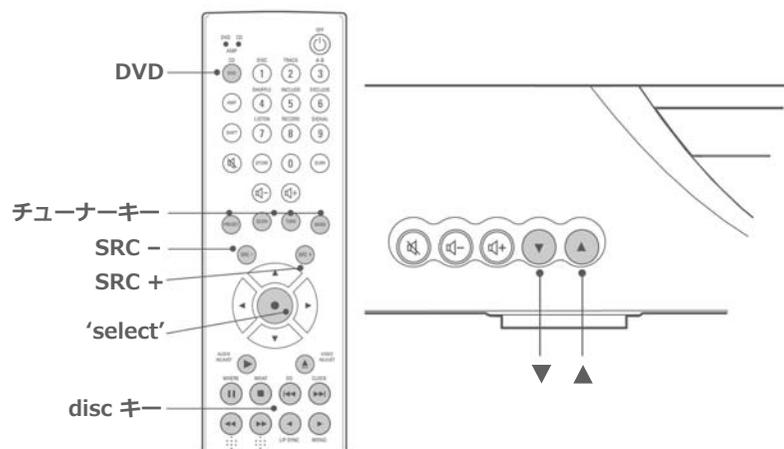
これで本機に影響を与えることなく、リモコンでチューナーを操作できるようになります(ページ11のソース選択を参照してください)。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

ソースの選択

本機が対応しているソースは、内部ソース2種類(Disc及びチューナー)、外部ソース4種類(AUX 1、AUX 2、DIG 1、DIG 2)の全6種類です。



ソースを選択する： リモコンを使用

- ディスクの再生は、DVDボタンを押した後、ディスク関連操作関連キー (▶, ||, 等) で行います。
- チューナーを選択する際は、チューナー関連のコマンドボタンのいずれかを押します。
- 外部ソースの場合、**SRC -** / **SRC +** を繰り返し押すか、あるいは押し続け、選択したいソースが画面に表示されたら **'select'** を押します。

前面パネルを使用

- 選択したいソースが画面に表示されるまで ▼/▲ を繰り返し押します。数秒するとソースが自動的に選択されます。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

CDを再生する

前面パネルディスプレイ

前面パネルのディスプレイに使われるマーク：

- ▶ 再生
- || 一時停止
- 停止
- ▶▶ 次のトラックへスキップする
- ◀◀ 前のトラックへスキップする
- ▶▶ 早送り(サーチ)
- ◀◀ 早戻し(サーチ)
- ▶▶ 早送りスキャン
- ◀◀ 早戻しスキャン

再生中のディスク時間情報も表示されます。

リモコンの「DISP」(ディスプレイ)を押すたびに、以下の順序で情報が表示されます：

前面パネル上の表示	内容
(表示なし)	トラックの経過時間
—	トラックの残り時間
T	全体の経過時間
T	全体の残り時間

前面パネルの時間情報の左右に、DVDとCDのディスクに関する追加情報が表示されます。

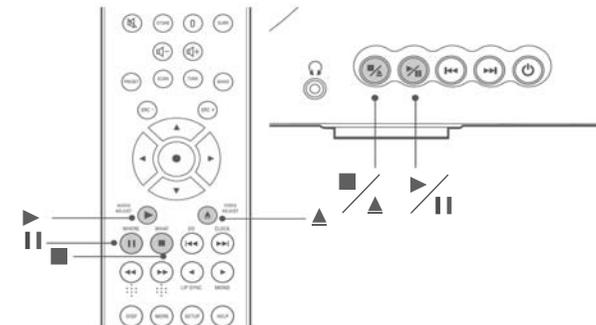
時間情報の左 — 全体のトラック数
時間情報の右 — 再生中のトラック番号

はじめに

1. 本機前面パネル、あるいはリモコンの  を押します。
2. リモコンの **DVD** を押します。あるいは、画面に SOURCE DISC と表示されるまで、前面パネルの  /  を繰り返し押すかあるいは押し続けます。少し待つと、前面パネルに下記のディスク表示が出ます。



基本操作



ディスク再生:

- リモコンの  または前面パネルの  /  を押してディスクトレイを開けます。
- 再生する面を下にしてディスクを入れます。
-  または  /  を押すか、ディスクトレイをそっと押して、トレイを閉めます。
- リモコンの  または前面パネルの  /  を押して再生を始めます。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

ディスクの一時停止/再生を再開:

- リモコンの **||** または前面パネルの **▶/||** を押します。

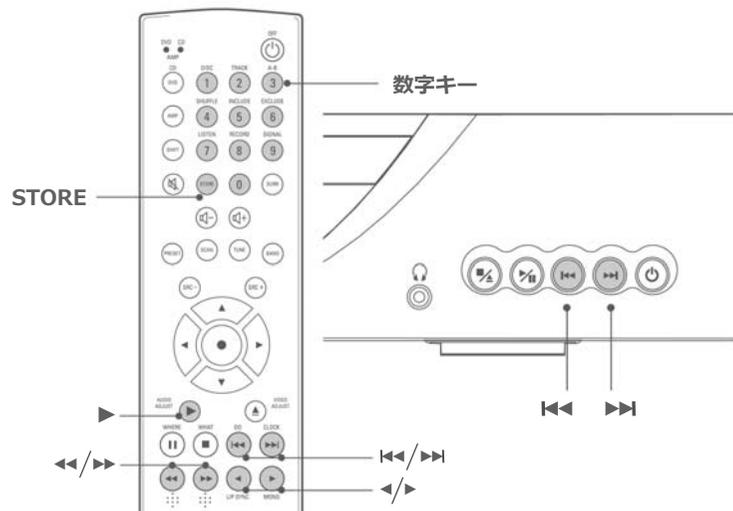
再生を停止:

- リモコンの **■** または前面パネルの **■/▲** を押します。

ディスクを取り出す:

- リモコンの **▲** を押すか、前面パネルの **■/▲** を押し続けると、ディスクトレイが開きます。
- ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めます。

CDの操作



次/前のトラック選択

ディスクのトラックの前後にスキップする:
前面パネル/リモコンを使用 —

- △** を押し続けるか、あるいは繰り返し押します。

ダイレクトトラック選択

特定のトラックを選択する:
リモコンを使用 —

- 数字キーでトラック番号を入力します。
- STORE** を押すか、自動的にトラックが選択されるまで数秒待ちます。

注記:

プログラムモードが機能しており、トラックがプログラムに含まれていない場合には、トラック選択はできません (15、16ページの「プログラム再生と除外再生」の項をご参照ください)。

早送り/早戻し (サーチ)

ディスク再生中に早送り/早戻しでサーチする:
リモコンを使用 —

- ▶▶/◀◀** を押し続けます。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

スキャン再生/逆再生

ディスク再生中に早送り/早戻しでスキャンする:
リモコンを使用

- ▶/◀ を押します。

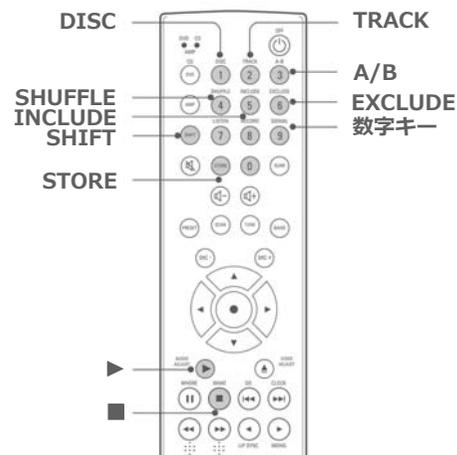
▶/◀ を押すごとに4倍速再生/逆再生,6倍速/逆再生、8倍速再生/逆再生になります。さらに▶/◀ を押すと通常再生に戻ります。

トラックの繰り返し再生

再生中のトラックを繰り返し再生する:
リモコンを使用

- ▶ (再生)を押します。

プログラムモードで再生する



ディスクの繰り返し再生

CD全体を繰り返し再生する:
リモコンを使用

- ディスク再生中、SHIFTを押し、2秒以内に **DISC** (数字キーの **1**) を押します。

前面パネルのディスプレイに ALL と表示されます。
CDが終わると、自動的に再生を繰り返します。

ディスク繰り返し再生モードを解除し、通常再生に戻る:

- SHIFT** を押し、2秒以内に **DISC** を押します。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

トラックの繰り返し再生

特定のトラックを繰り返し再生する:
リモコンを使用 ー

- 選択したトラックを再生中に、**SHIFT** を押し、2秒以内に **TRACK** (数字キーの **2**) を押します。

前面パネルのディスプレイに **ONE** と表示されます。
選択したトラックが終わると、自動的に繰り返します。

セクションの繰り返し再生

ディスクの特定セクションを繰り返し再生する:
リモコンを使用 ー

ディスクを再生中、繰り返し再生したいセクションの始まりを選択します ー

- **SHIFT** を押し、2秒以内に **A-B** (数字キーの **3**) を押します。

繰り返し再生したいセクションの最後まで再生を続けます ー

- **SHIFT** を押し、2秒以内に **A-B** を押します。

もう一度 **A-B** を押すと、指定したセクションが自動的に繰り返し再生されます。

セクション繰り返し再生モードを解除し、通常再生に戻る:

- **SHIFT** を押し、2秒以内に **A-B** を押します。

シャッフル再生

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生順にトラックをシャッフルする:
リモコンを使用 ー

- **SHIFT** を押し、2秒以内に **SHUFFLE** (数字キーの **4**) を押します。

前面パネルのディスプレイに **SHF** と表示されます。

- **▶** を押すと再生が始まります。

シャッフルモードを解除する:

- **■** を押します。
- **SHIFT** を押し、2秒以内に **SHUFFLE** を押します。

プログラム再生

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。
ディスク中で再生したいトラックだけを選択するプログラムモードです。

再生するトラックを選択する:
リモコンを使用 ー

1. **SHIFT** を押し、2秒以内に **INCLUDE** (数字キーの **5**) を押します。

前面パネルのディスプレイに **P01:00**、**INC** と表示されます。

2. 数字キーで指定するトラック番号を入力します。
3. **STORE** を押して指定したトラックを保存し、次のステップに進みます。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

4. 上記の2と3の手順を繰り返して、指定したいトラックすべてを選択します。
5. ▶ を押してプログラムを保存し、指定したトラックの再生を開始します。

セクション繰り返しモードを解除し、通常再生に戻る:

- **SHIFT** を押し、2秒以内に **INCLUDE** を押します。

除外再生

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。
ディスク中のトラックから再生しないトラックを指定するプログラムモードです。残りのトラックのみが再生されます。

再生から除外するトラックを選択する: リモコンを使用

1. **SHIFT** を押し、2秒以内に **EXCLUDE** (数字キーの6) を押します。

前面のパネルのディスプレイに P01:00、EXC と表示されます。

2. 数字キーで除外したいトラック番号を入力します。
3. **STORE** を押して除外したいトラックを保存し、除外したいトラック
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、除外したいトラックすべてを選択します。
5. ▶ を押してプログラムを保存し、除外しなかったトラックの再生を開始します。

保存したプログラムを消去する/除外再生モードを解除する:

- **SHIFT** を押し、2秒以内に **EXCLUDE** を押します。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

チューナー

RDSについて

この機能は日本ではご使用頂けません。

セットアップ

最初にチューナーキー (**PRESET**、**SCAN**、**TUNE**、**BAND**) を押す、あるいはチューナーソースを選択すると、前面パネルに下記のような表示が出ます。



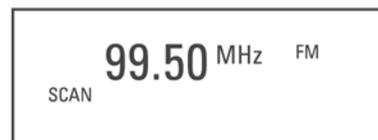
本機をお使いの国のラジオ周波域に正しく合わせる必要があります。リモコンの ▲/▼キーで該当する地域 (ヨーロッパ、米国、日本) を選択し、リモコンの 'select' を押します。正しい設定に自信がなければ、最寄の販売店にご相談ください。

リージョン (地域) 設定を変更するには:

- リモコンの **SHIFT** ボタンを押した後、**SIGNAL** (数字の 9) ボタンをディスプレイにRegion?が表示されるまで押し続けます。
- リモコンの ▲/▼ キーを使用して、希望のリージョンを選択した後、'select' を押します。

はじめに

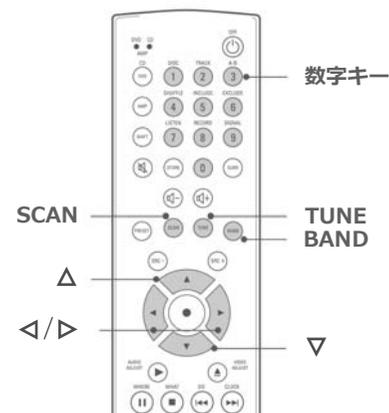
- 本機の前面パネルまたはリモコンの  を押します。
- リモコンのチューナーキーのいずれか (**PRESET**、**SCAN**、**TUNE**、**BAND**) を押します。前面パネルにチューナー表示が出ます。



あるいは

画面にSOURCE TUNERと表示されるまで、リモコンの **SRC - / SRC +** またはフロントパネルの ▲/▼ を繰り返し押すかあるいは押し続けます。数秒経過すると、画面は上記のチューナー表示に変わります。

チューニング機能



CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

AM/FM 帯域の選択

AMとFMを切り替える:

- リモコンの **BAND** を押します。

前面パネルのディスプレイに選択された帯域が表示されます。

周波数の選択

受信周波数を上げ下げする:

リモコンを使用 ー

- **TUNE** を押します。

前面パネルのディスプレイにTUNEと表示されます。

- 周波数を上げるには、**△** を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- 周波数を下げるには、**▽** を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- 数字キーで周波数を入力します。

周波数を入力すると、それが有効となるように自動的に調整します。入力を誤った場合は、**▷** を押して解除します。

信号サーチ

この機能では、信号が見つかるまでAM/FM帯域を上下します。

信号をサーチする:

リモコンを使用 ー

- 前面パネルのディスプレイに **SEARCH** と出るまで、**SCAN** を繰り返し押し、その後押し続けます。
- 次の信号をサーチするには、**△** を押します。
- 前の信号をサーチするには、**▽** を押します。

信号スキャン

これは信号サーチ(上記)と同一機能です。ただし、信号が見つかった後5秒間自動的に信号をスキャンし続けます。

信号をスキャンする:

リモコンを使用 ー

- 前面パネルのディスプレイに **SCAN** と出るまで、**SCAN** を繰り返し押し、その後押し続けます。
- 受信周波数帯域を高い側にスキャンするには、**△** を押します。
- 受信周波数帯域を低い側にスキャンするには、**▽** を押します。

局を選択して信号スキャンを止める:

- **SCAN** を押します。

CLASSIK MUSIC

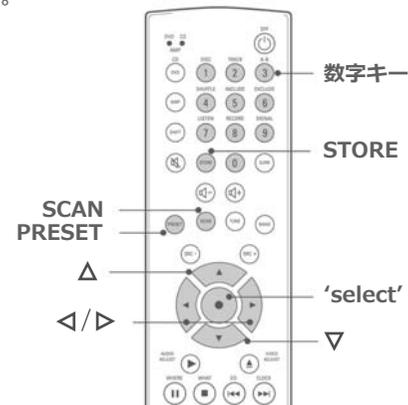
OWNER'S MANUAL

RDSチューニング機能

この機能は日本でご使用頂けません。

プリセット機能

ここではプリセットした周波数の保存のしかたと利用手順を説明します(最大200局)。



自動プリセット保存

すべての利用可能な自動的にスキャンしそれらをプリセット保存する:
リモコンを使用

- プリセット保存したい帯域を選択します。
- **STORE** を押します。
- **SCAN** を2度押します。前面パネルのディスプレイに AUTOSTORE SEARCHING と表示されます。

自動プリセット保存がスタートし、最低周波数から最高周波数まで続きます。各信号が見つかったと周波数をプリセット保存するために5秒間小休止します。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

- 5秒の小休止をスキップして周波数をプリセット保存するときは、**△** を押し続けます。その後スキャンを継続します。
- 5秒の小休止をスキップし、かつ周波数をプリセット保存しないときは **▽** を押します。その後スキャンを継続します。

スキャンはチューナーが最大周波数に到達すると自動的に止まります。

注記:

自動プリセットされた放送局はプリセット順にFM1、FM2...が割り当てられます。

プリセットには異なる名前をつけることができます(下記の手動プリセット保存の項をご参照ください)。

自動プリセット保存は、AMとFM帯域で別々に実行しなければなりません。

一度保存した周波数を重ねて再度保存することはできません。

手動プリセット保存

周波数を手動でプリセット保存する: リモコンを使用

1. チューナーを保存したい周波数に合わせます。
2. **STORE** を押します。

前面パネルのディスプレイに点滅するバーが表れ、その下に次のような表示が出ます。▲▼● 0..9 ◀▶ TO EDIT

3. 各プリセットには、最大10文字の名前をつけることができます。

以下のリモコンキーで名前を入力します

△ / ▽ A ~ Z、0 ~ 9、よく使用される記号が順に表示されます。

'select' 大文字と小文字を切り替えます。

数字キー 電話キーと同じ方法で、数字とアルファベットを入力するのに使用できます。例えば2を繰り返し押すとA/B/C/2が、3ならD/E/F/3が順に出てきます。

- 希望の文字/ 数字/ 記号を選択したとき、次のスペースに移動するには、**▷**を押します。
 - 文字を変更または削除するには、文字が点滅するまで **◀ / ▷** キーを使用した後、新しい文字を入力するか、**◀** を押し続けて文字を削除します。
 - 文字を挿入するには、新しい文字を挿入したい箇所まで **◀ / ▷** キーで移動します。**▷** を押し続けます。点滅する文字以下は1スペース分けて右に寄ります。新しい文字を入力します。
4. プリセット名を入力し終わったら、**STORE** を押します。

プリセット選択

プリセットを選択する: リモコンを使用

- **PRESET** を押します。

前面パネルのディスプレイに PRESET が表示されます。

- **△ / ▽** を繰り返し押すかあるいは押し続けます。(**△** を押すと、まず数字順、次にアルファベット順でプリセットが表示されます。**▽** を押すと、逆順に表示されます。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

あるいは

- ◀/▶を押すと、アルファベット各文字の最初/最後のプリセットを選択します。

あるいは

- リモコン数字キーで、プリセット名の最初の文字を入力します。A、B、C、2のいずれかで始まるプリセットの場合は数字キーの **2** を。D、E、F、3のいずれかで始まるプリセットの場合は数字キーの **3** を使用します。

前面パネルのディスプレイにプリセット名が表示されます。

プリセット削除

プリセットを削除する: リモコンを使用 ー

- **PRESET** を押します。
- ◀/▶で削除したいプリセットを選択します。
- **PRESET** を押し続けます。前面パネルのディスプレイにPRESS TO ● CLEARと表示されます。
- **'select'** を押します。

ディスプレイは PRESET CLEARED となります。

すべてのプリセットを削除する: リモコンを使用 ー

- **PRESET** を短く押します。
- 前面パネルのディスプレイにPRESS ● TO CLEARと表示されるまで **PRESET** を押し続けます。
- **'select'** を押し続けて、ディスプレイに ALL PRESETS CLEARED の表示を出します。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

プリアンプ

音量調整とミュート機能はリモコンで常時操作可能です。その他のプリアンプ機能を動作させるにはリモコンをAmpモードに設定する必要があります。

操作方法:

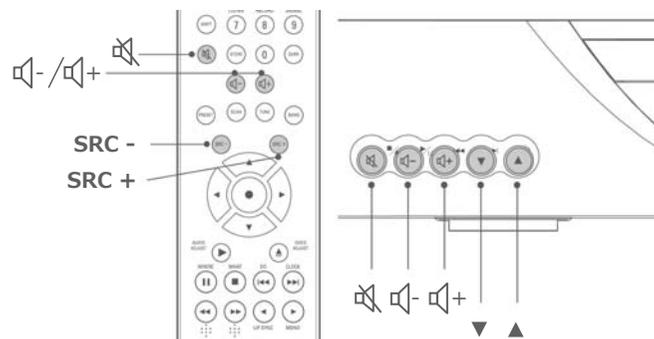
- リモコンの **AMP** ボタンを押します。

Classik Musicでディスクの入力を操作するためには、リモコンをDiscモードに戻します。

操作方法:

- リモコンの **DVD** ボタンを押します。

音量とミュート(消音)



音量範囲は0 ~ 100です。

重要:

過大音量は、聴覚に支障をきたす恐れがあり、またご使用のオーディオ機器に損傷を与える可能性があります。

音量を調整する:

- / を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

前面パネルに音量表示が出ます。

音量表示画面から出る:

- リモコンの **SRC - / SRC +** または前面パネルの / を押します。

あるいは

- ディスプレイが前の表示に戻るまで数秒待ちます。

ミュート(消音)とミュート解除:

- を押します。

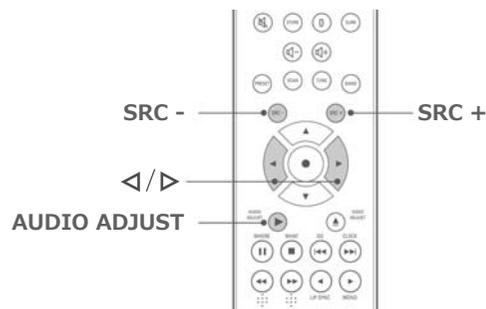
注記:

本機にヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーやライン出力端子への音声がミュートされます。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

バランス調整



フロントスピーカーとサラウンドスピーカー間、または左右スピーカー間のバランスを変えます。

バランス調整は左右とも10が最大で、ニュートラルポジションは0です。

バランスをシフトさせる (リモコンはAmpモードに設定してください: 前ページを参照してください):

- **AUDIO ADJUST** を繰り返し押し、前面パネルに下図のようなバランス表示を呼び出します。

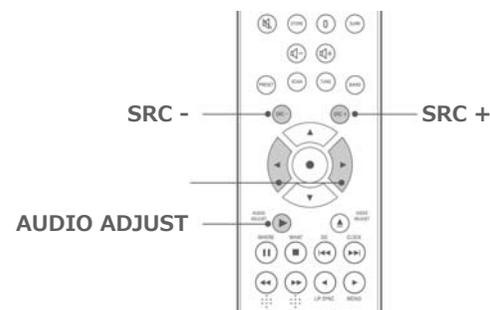


- バランスを左右にシフトさせるにはリモコンの $\triangleleft/\triangleright$ ボタンを押します。

バランス調整から出る:

- **SRC -/ SRC +** を押します。
- あるいは
- 使用中のソースの表示に変わるまで数秒待ちます。

音質調整



低域と高域の調整範囲はそれぞれ-7 ~ +7です。ニュートラルは0です。

低域と高域の調整 (リモコンはAmpモードに設定してください: 前ページを参照してください):

- リモコンの **AUDIO ADJUST** を繰り返し押して、前面パネルに低域/高域表示を出します。



CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

- 低域/ 高域レベルを上げるには、リモコンの ▶ を繰り返し押すかあるいは押し続けます。
- 低域/ 高域レベルを下げるには、リモコンの ◀ を繰り返し押すかあるいは押し続けます。

低域/ 高域調整から出る

- **SRC -/ SRC +** を押します。

あるいは

- 使用中のソースの表示が変わるまで数秒待ちます。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

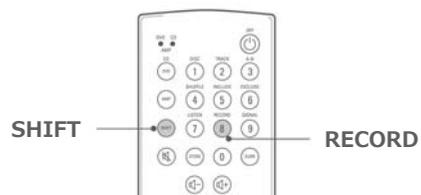
ソースのレコーディング

ディスク、チューナー、あるいは外部ソースの信号を本機から録音機器(DATレコーダーなど)に送ることができます。

利用するソースをリモコンまたは前面パネルで選択するだけで、ソース信号を録音機器に送ることができます。(本機の出力によって、現在選択しているソースの音声・映像信号が常時送られます。)

録音ロック

録音ロックを使用すると、録音中にソースを変更できないようにすることができます。



録音ロックをオンにする: リモコン使用

- 録音したいソース名を画面に表示した状態で、**SHIFT** を押してから2秒以内に **RECORD** を押します。

ディスプレイにSOURCE (RECORD LOCKED)が表示されます。

録音ロックをオフにする:

- 録音中のソース名を画面に表示した状態で、**SHIFT** を押してから2秒以内に **RECORD** を押します。

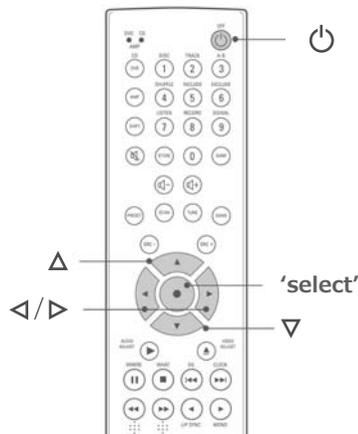
(RECORD LOCKED) が画面から消えます。

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

ユーザーオプション

ユーザーオプション設定の変更



ユーザーオプション設定を変更する: リモコン使用

- ⏻ ボタンを押してスタンバイ状態にします。
- ⏻ を押し続けて、USER OPTIONの表示を出します。
- 希望のユーザーオプションを選択するには、Δ あるいは、▽ を繰り返し押しするかあるいは押し続けます。
- ユーザーオプション設定を変更するには、▶ あるいは、◀ を繰り返し押しするかあるいは押し続けます。

ユーザーオプションを工場出荷時設定値に戻す:

- 希望のユーザーオプションを選択します。
- 'select'を押します。

ユーザーオプションモードから出る:

- ⏻ を押します。

ユーザー設定が保存され、本体の電源が入ります。

ユーザーオプション一覧

以下の一覧表はユーザーオプションについて説明しています。

デフォルト設定は太字で表示してあります。本体ディスプレイでは * にて確認できます。

ユーザーオプション	内容	設定
Set display brightness	前面パネルのディスプレイの明るさを調整します。Autoに設定すると、本機が室内の明るさに応じて適切な明るさを選択します(室内が明るいほど、ディスプレイも明るくなります)。	Auto 2% - 100%
Enable source memory	オン: 各ソースごとに音量、低域、高域、バランスの設定ができます。 オフ: すべてのソースの音量、低域、高域、バランスの設定は同一になります。	On Off
Enable IR sensor	本機リモコン制御のオン/オフします。	On Off

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

ユーザーオプション	内容	設定
Set IR modulation: IR out 1	赤外線フラッシャー1の変調周波数設定。工場出荷状態で使用しないとき、周波数は6 ~ 1005kHz (リニアでない場合) の範囲に設定します。	36 kHz 6 ~ 1005kHz
Set IR modulation: IR out 2	赤外線フラッシャー2の変調周波数設定。工場出荷状態で使用しないとき、周波数は6 ~ 1005kHz (リニアでない場合) の範囲に設定します。	56 kHz 6 ~ 1005kHz
Configure ACC socket	アクセサリ端子 (ACC) の使用を設定します。IRは赤外線リピーター、RCUはKnektリモートコントロールユニット	IR RCU
Configure Knekt mode	オート: 本機がKnektシステム内で使用されているかを判別します。 メイン: Knektの取扱説明書をご覧ください。 ルーム: Knektの取扱説明書をご覧ください。	Auto Main Room
Configure Knekt mode	別のDVDプレーヤーが接続されたり、同じ部屋で使用されている場合、Classik MusicがリモコンのDVD操作で作動しないようにするためにNoに設定します。	Yes No

ユーザーオプション	内容	設定
Enable auto-selection: Disc	本オプションがOnに設定され、本機がDiscソースを使用していないとき、ディスク機能キー () のいずれかを押し、本機は自動的にDiscソースに切り替わります。 本オプションをOffに設定している場合、ディスク機能キーを使用するにはDiscソースを選択する必要があります。	On Off
Enable auto-selection: Tuner	本オプションがOnに設定され、本機がTunerソースを使用していないとき、チューナーの機能キー (PRESET、SCANなど) のいずれかを押し、本機は自動的にTunerソースに切り替わります。 本オプションをOffに設定している場合、チューナー機能キーを使用するにはTunerソースを選択する必要があります。	On Off
RS232 baud rate	RS232制御のボーレートを設定します。	9600 4800 ~ 230400
RS232 events	Onにすると、本機のステータス情報をRS232データ対応の外部危機に送信します。	On Off
RS232 startup message	Onにすると、本機のスイッチが入ったときに、RS232開始メッセージを出します。	On Off

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

仕様

接続端子 ヘッドフォン ラインアウト プリアンプアウト AUX入力 デジタル入力 デジタル出力 スピーカー出力	3.5 mmステレオジャック RCAフォノ " " 1 x 同軸RCA, 1 x optical TOSLINK 1 x 光TOS BFA
入力インピーダンス AUX入力	100 k Ω
入力電圧 AUX入力	2 V RMS
ヘッドフォン 出力レベル 負荷インピーダンス	4 V RMS 600 Ω
パワーアンプ	75 W (4 Ω)
消費電力 スタンバイ 実動時	12 W 123W
互換性のあるディスク	CD, CD-R, CD-RW
互換性のある形式	LPCM, DTS CD
チューナー接続端子	FM and AM aerial terminals
チューナーレンジ	USA: FM 87.5 MHz ~ 108.5 MHz AM 530 kHz ~ 1730 kHz 日本: FM 75.5 MHz ~ 108.5 MHz AM 522 kHz ~ 1629 kHz ヨーロッパ: FM 87.5 MHz ~ 108.5 MHz AM 522 kHz ~ 1611 kHz

受信ステップ	FM TUNE mode: 50 kHz FM SCAN mode: 100 kHz AM TUNE mode: 1 kHz AM SCAN mode: 10 kHz USA, 9 kHz 日本, ヨーロッパ
プリセット局数	200 user definable
外部操作機器との接続	RS232 input Linn accessory socket: RJ45 Linn Knekt main input: RJ45 Linn Connect: 4 x RJ45 IR out: 2 x 3.5 mm mono jack, variable modulation frequency from 6 kHz ~ 1005 kHz
寸法	381 mm (W) x 80 mm (H) x 368 (D) 15" (W) x 3.1" (H) x 14.5" (D)
重量	6.25 kg 13.8 lb

CLASSIK MUSIC

OWNER'S MANUAL

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付属する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。あるいは、www.linn.co.ukにて保証登録していただけます。

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄の販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow G76 0EQ, Scotland, UK

電話: +44 (0) 141 307 7777

FAX: +44 (0) 141 644 4262

ヘルプライン: 0500 888909

電子メール: helpline@linn.co.uk

www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard, Jacksonville, FL 32216, USA

電話: +1 (904) 645 5242

FAX: +1 (904) 645 7275

ヘルプライン: 888-671-LINN

電子メール: helpline@linninc.com

www.linninc.com

Linn Deutschland Gmb H

Huhnerposten 1d, D-20097 Hamburg, Deutschland

電話: +49-(0) 40-890- 660-0

FAX: +49-(0) 40-890 660-29

電子メール: info@linngmbh.de

www.linn.co.uk

リン・ジャパン

104-0031 東京都中央区京橋2-11-5 パインセントラルビル 501

電話: 03-5524-0881

FAX: 03-5524-0882

ヘルプライン: 0120-126173

電子メール: info@linn.jp

www.linn.jp